

平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月9日

上場会社名 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所 上場取引所 大
 コード番号 4576 URL <http://www.dwti.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日高 有一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務管理部長 (氏名) 上窪 彩子 (TEL) 052-218-8785
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	37	—	△153	—	△151	—	△151	—
23年12月期第2四半期	—	—	△184	—	△183	—	△184	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	△8.62	—
23年12月期第2四半期	△10.64	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	
24年12月期第2四半期	516	—	501	—	96.7
23年12月期	665	—	639	—	95.8

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 499百万円 23年12月期 637百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年12月期	—	0.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	112	462.5	△287	—	△287	—	△288	—	△16.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年12月期 2 Q	17,646,400株	23年12月期	17,498,900株
-------------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

24年12月期 2 Q	—株	23年12月期	—株
-------------	----	---------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年12月期 2 Q	17,576,317株	23年12月期 2 Q	17,318,900株
-------------	-------------	-------------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示を予定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	4
(3) 業績予想に関する定性的情報	4
2. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における国内経済は、東日本大震災からの復興需要による企業活動の回復や、政策効果による個人消費の緩やかな増加などにより、内需の回復が見られました。一方で、雇用・所得環境の低迷、電力不足への懸念、欧州債務問題を受けた株価低迷や円高基調の継続など、先行きが不透明な状況が続いております。

国内医薬品業界におきましては、大型薬の特許切れ等を背景とした収益確保のための医薬候補品取得に向けたインライセンス活動、事業提携やM&Aが継続しております。

このような状況の下、当社は新薬の継続的な創出とパイプラインの拡充を目指し、研究開発活動を推進しました。

ライセンスアウト済パイプラインにつきましては、ライセンスアウト先の興和株式会社により抗血小板剤「K-134」の国内後期第Ⅱ相臨床試験及び緑内障治療剤「K-115」の国内第Ⅲ相臨床試験が実施されております。

新規開発品につきましては、ドラッグ・ウエスタン法によって新規緑内障治療剤「H-1129」の標的タンパク質を同定しました。「H-1129」につきましては、ライセンスアウトに向けた活動を進めており、有償による評価用試料の提供等を行いました。また、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、「H-1129」バックアップ化合物となるリード化合物の選定を完了し、化合物最適化に向けた研究開発活動を行いました。

売上高につきましては、「K-134」の国内後期第Ⅱ相臨床試験が第1四半期会計期間に開始されたことにより、マイルストーン収入37百万円を計上し、売上原価にロイヤリティ16百万円を計上しました。

利益面につきましては、研究開発費が91百万円(前年同期比1.2%減)、その他販売費及び一般管理費が83百万円(前年同期比9.3%減)であったことにより、販売費及び一般管理費は174百万円(前年同期比5.2%減)となりました。その結果、営業損失は153百万円(前年同期営業損失184百万円)、経常損失は151百万円(前年同期経常損失183百万円)、四半期純損失は151百万円(前年同期四半期純損失184百万円)となりました。

なお、当第2四半期累計期間における新薬候補化合物開発状況は以下のとおりです。

① 新薬候補化合物開発状況

(イ) ライセンスアウト済パイプライン

プロジェクト名	開発中の新薬(対象疾患)	開発段階	ライセンスアウト先
K-134	抗血小板剤 (閉塞性動脈硬化症)	国内後期第Ⅱ相臨床試験 米国前期第Ⅱ相臨床試験終了	興和株式会社
K-115	緑内障治療剤 (緑内障)	国内第Ⅲ相臨床試験	興和株式会社

※HMN-214(抗癌剤)について:ライセンスアウト先の日本新薬株式会社により、海外ライセンスアウトが検討されておりますが、現時点でPhaseⅡa以降の臨床試験の計画は未定です。

(ロ) 新規開発品

プロジェクト名	開発中の新薬	開発段階
H-1129	緑内障治療剤	化合物最適化完了
シグナル伝達阻害剤開発プロジェクト	H-1129バックアップ化合物(緑内障治療剤)	基礎研究
	高血圧治療剤 神経保護剤 粥状動脈硬化治療剤 眼科関連治療剤 抗癌剤等	

② 当期の業績の概況

(イ) 売上高、売上原価

売上高は「K-134」の国内後期第Ⅱ相臨床試験が開始されたことにより、マイルストーン収入37百万円を計上し、売上原価にロイヤリティ16百万円を計上しました。

(ロ) 販売費及び一般管理費、営業損失

a. 研究開発費

研究開発費は人件費の減少等により、91百万円(前年同期比1.2%減)となりました。

新規開発品につきましては、ドラッグ・ウエスタン法によって新規緑内障治療剤「H-1129」の標的タンパク質を同定しました。「H-1129」につきましては、ライセンスアウトに向けた活動を進めており、有償による評価用試料の提供等を行いました。また、シグナル伝達阻害剤開発プロジェクトにつきましては、「H-1129」バックアップ化合物となるリード化合物の選定を完了し、化合物最適化に向けた研究開発活動を実施しました。

なお、当社のパイプラインである「K-134」、「K-115」、「HMN-214」の研究開発費は、ライセンスアウト先の資金により賄われており、当社において研究開発費負担は発生しておりません。

b. その他販売費及び一般管理費

その他販売費及び一般管理費は人件費の減少があったほか、経費削減に努めたこと等により、83百万円(前年同期比9.3%減)となりました。

これらにより、営業損失は153百万円(前年同期営業損失184百万円)となりました。

(ハ) 経常損失、四半期純損失

営業外収益に有償サンプル代収入2百万円を計上したこと等の結果、経常損失は151百万円(前年同期経常損失183百万円)、四半期純損失は151百万円(前年同期四半期純損失184百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末から148百万円減少し、516百万円となりました。主な要因は、現金及び預金が前事業年度末に比べ147百万円減少したこと等によるものです。

なお、総資産に占める流動資産の比率は当第2四半期会計期間末96.8%、前事業年度末97.4%です。

負債は、前事業年度末から10百万円減少し、15百万円となりました。主な要因は未払金が9百万円減少したこと等によるものです。

純資産は、前事業年度末から137百万円減少し、501百万円となりました。これは、四半期純損失の計上により、利益剰余金が151百万円減少したこと等によるものです。

なお、借入金や社債等の有利子負債残高はありません。

また、負債純資産合計に占める純資産の比率は当第2四半期会計期間末97.0%、前事業年度末96.1%です。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べ147百万円減少し、192百万円となりました。

なお、当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は160百万円(前年同期は186百万円の支出)となりました。これは主に税引前四半期純損失151百万円や、未払金の増減額9百万円の支払いがあったこと等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は1百万円(前年同期は199百万円の収入)となりました。これは、有形固定資産の取得による支出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は13百万円となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行による収入13百万円があったことによるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当事業年度の業績につきましては、平成24年2月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	620,244	472,415
有価証券	20,032	20,039
原材料及び貯蔵品	1,201	1,262
前払費用	4,458	5,003
その他	2,166	1,752
流動資産合計	648,104	500,473
固定資産		
有形固定資産	7,891	7,145
無形固定資産	357	286
投資その他の資産	9,149	9,077
固定資産合計	17,398	16,508
資産合計	665,502	516,982
負債の部		
流動負債		
未払金	14,728	4,762
未払法人税等	3,653	3,143
その他	7,880	7,513
流動負債合計	26,263	15,419
負債合計	26,263	15,419
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,291,829	1,298,808
資本剰余金	1,281,829	1,288,808
利益剰余金	△1,936,194	△2,087,766
株主資本合計	637,463	499,850
新株予約権	1,775	1,712
純資産合計	639,239	501,563
負債純資産合計	665,502	516,982

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	—	37,500
売上原価	—	16,250
売上総利益	—	21,250
販売費及び一般管理費		
研究開発費	92,409	91,312
その他	92,235	83,661
販売費及び一般管理費合計	184,644	174,973
営業損失(△)	△184,644	△153,723
営業外収益		
受取利息	560	280
有償サンプル代収入	—	2,500
その他	338	290
営業外収益合計	899	3,071
営業外費用		
株式交付費	—	266
固定資産除却損	—	173
その他	4	—
営業外費用合計	4	440
経常損失(△)	△183,749	△151,093
税引前四半期純損失(△)	△183,749	△151,093
法人税、住民税及び事業税	603	478
法人税等合計	603	478
四半期純損失(△)	△184,353	△151,571

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△183,749	△151,093
減価償却費	2,606	1,743
受取利息及び受取配当金	△560	△280
株式交付費	—	266
固定資産除却損	—	173
為替差損益(△は益)	4	△8
たな卸資産の増減額(△は増加)	△424	△61
前払費用の増減額(△は増加)	618	△544
未収消費税等の増減額(△は増加)	526	863
未払金の増減額(△は減少)	△5,181	△9,896
その他	△314	△870
小計	△186,476	△159,708
利息及び配当金の受取額	575	248
法人税等の支払額	△1,050	△829
営業活動によるキャッシュ・フロー	△186,952	△160,289
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△1,100
定期預金の預入による支出	△500,000	△300,000
定期預金の払戻による収入	700,000	300,000
差入保証金の差入による支出	△558	—
差入保証金の回収による収入	252	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	199,694	△1,100
財務活動によるキャッシュ・フロー		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	13,558
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	13,558
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	8
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,737	△147,822
現金及び現金同等物の期首残高	262,712	340,276
現金及び現金同等物の四半期末残高	275,450	192,454

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。